



2012.2.16-2.26

# 台南市青少年訪問団

報告書

主催：財団法人 仙台国際交流協会



# 目次

はじめに .....	1
実施概要 .....	2
団員名簿 .....	3
行程表 .....	5
仙台市と台南市 .....	6
訪問地図 .....	7
事前・事後研修会レポート .....	8
活動グループ紹介 .....	11
団員レポート .....	20
フォトアルバム .....	35
台南からのメッセージ .....	39
同行者からのメッセージ .....	43
ツアー参加者アンケート .....	45
新聞記事の紹介 .....	46
編集後記 .....	47

## はじめに

仙台市と友好交流促進協定を結ぶ台湾の台南市では、東日本大震災の直後から、「送愛到仙台（仙台に愛を送ろう）」の名のもとに活発な募金活動が行われました。また、台南市に本拠地を置く奇美グループ及び台南市政府からは「復興を担う人づくりこそ経済的支援にも勝る最も確かな支援である」という考えのもと、3年間で約300人の仙台の青少年を台南に招待したいとの申し出がありました。

これを受け、その第一回となる台南市青少年訪問団を、大学生等30名及び同行職員が参加し、2011年2月に実施しました。

ツアー滞在中には日本語を学ぶ大学生などが全日程同行し、通訳などいろいろな面でサポートを頂きました。仙台と台南の若者たちは、最後の交流会で涙ながらに別れを惜しむ、濃密な11日間を過ごすことができました。

また、団員たちは、とても似ているけど、日本とは違う文化を持つ台湾が、仙台から飛行機でわずか3時間と近い距離にあることに気付くとともに、アジアにおける日本、仙台の位置付けに認識を新たにしました。

仙台と台南の若者たちの交流は、Facebook等を通じて、帰国後も活発に続いており、3年続く、このプロジェクトにおいて、継続的な交流の第一歩を記したものと確信しています。

この報告書は、ツアーに参加した若者たちの帰国直後の熱い思いのまま、原稿が作成されました。やや、内輪にすぎる話題や奔放な記述があるとすればお許しください。

最後に、今回のツアーの実現に向けご尽力頂いた奇美グループや台南市政府の方々、現地でお手伝い頂いた学生ボランティアやホームビジットで温かいもてなしをご提供いただいた台南市民の方々、その他、台湾で出会った全ての方々に心から感謝申し上げます。併せて、長年にわたる民間交流等により仙台と台南の交流の礎を築いてきた仙・台友好交流促進協会及び仙台市役所の方々に深く感謝申し上げます。

平成24年4月

財団法人仙台国際交流協会

## 実施概要

- 1 仙台市と交流促進協定を結ぶ台南市に青少年を派遣し、現地の青少年との交流や台南市内の見学、日本文化の紹介などを通して、異文化理解を深める機会とする。また、震災で受けた支援への感謝や現在の仙台の現状を伝える機会とする。
- 2 訪問先 台湾 台南市および近郊
- 3 実施時期 2012年2月16日(木)～2月26日(日) 11日間
- 4 主催 (財)仙台国際交流協会
- 5 後援 仙台市
- 6 協力 仙・台友好交流促進協会
- 7 参加人数 青少年30名 同行者4名
- 8 募集対象  
仙台市内にお住まいか通勤・通学する18歳～22歳の方(平成23年4月1日現在。高校在学中の者は除く)で下記の条件を満たす方
  - ① 心身ともに健康であること。
  - ② 国際交流、異文化理解に関心があり、ツアーの趣旨を理解・賛同し、団体行動に参加可能であること。
  - ③ 定められた日程・旅行条件で参加できること。
  - ④ 事前・事後研修(全5回程度)に参加できること。
  - ⑤ 20歳未満の場合は、保護者の承諾を得られること。
- 9 事前研修
  - 第1回目 2012年1月14日(土)「ツアー概要説明」「台南市と仙台市の交流について」
  - 第2回目 2012年1月29日(日)「台湾について」「中国語ワンポイントレッスン」
  - 第3回目 2012年2月4日(土)「旅行に関する最終確認」  
「仙台紹介、仙台現状発表、文化交流に向けた準備」
- 10 事後研修
  - 第1回目 2012年3月10日(土)「ツアーの振り返り」
  - 第2回目 2012年3月24日(土)「報告書の作成」



□青少年団員名簿

No	名前	ふりがな	性別	年齢	所属
1	青島 翔平	あおしま しょうへい	男	20	宮城教育大学
2	青柳 愛	あおやぎ あい	女	19	尚綱学院大学
3	阿部 晋士	あべ しんじ	男	19	仙台高等専門学校
4	阿部 堇花	あべ すみれ	女	18	宮城教育大学
5	石黒 弘樹	いしぐろ ひろき	男	19	東北福祉大学
6	一條 文佳	いちじょう ふみか	女	20	東北大学
7	大友 美穂	おおとも みほ	女	20	宮城大学
8	小山田 陽奈	おやまだ はるな	女	22	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
9	柿崎 有希	かきざき ゆうき	男	21	東北学院大学
10	木皿 瑠美	きさら るみ	女	21	東北学院大学
11	今野 愛美	こんの めぐみ	女	21	宮城学院女子大学
12	齋藤 宇成	さいとう たかあき	男	20	東北学院大学
13	櫻場 愛梨	さくらば あいり	女	20	仙台白百合女子大学
14	佐々木 愛	ささき あい	女	22	東北学院大学
15	佐々木 綾香	ささき あやか	女	19	東北学院大学
16	佐々木 沙織	ささき さおり	女	20	仙台白百合女子大学
17	佐藤 紘	さとう ひろ	女	22	宮城教育大学
18	品川 彩子	しながわ あやこ	女	20	宮城教育大学
19	庄子 梢	しょうじ こずえ	女	20	東北学院大学
20	鈴木 静花	すずき しずか	女	20	宮城学院女子大学
21	鈴木 春菜	すずき はるな	女	21	東北学院大学
22	滝澤 祥子	たきざわ しょうこ	女	20	東北大学
23	武政 明日香	たけまさ あすか	女	20	東北大学
24	天満 和人	てんまん かずと	男	21	東北学院大学
25	平間 眞珠	ひらま まみ	女	19	宮城教育大学
26	真壁 さくら	まかべ さくら	女	19	東北学院大学
27	目黒 亜季	めぐろ あき	女	21	東北学院大学
28	百井 温美	ももい あつみ	女	20	東北学院大学
29	柳川 実来里	やながわ みくり	女	19	東北生活文化大学
30	山口 純枝	やまぐち あやえ	女	19	東北学院大学

団長：阿部 晋士

※年齢は申込日（10月）時点

副団長：阿部 堇花、佐々木 沙織

□同行者

No	名前	ふりがな	性別	所属・同行期間
1	守 修一	もり しゅういち	男	仙台市市民局 次長 2012年2/16(木)～2/19(日)
2	池田 規子	いけだ のりこ	女	仙台国際交流協会 副理事長 2012年2/16(木)～2/19(日)
3	佐藤 剛	さとう たけし	男	仙台国際交流協会 企画事業課長 2012年2/19(日)～2/26(日)
4	川合 朋子	かわあい ともこ	女	仙台国際交流協会 企画事業課企画係 2012年2/16(木)～2/26(日)

□集合写真(2012年1月29日 第2回目事前研修にて)





## 平成24年2月 第1回 台南市青少年訪問団日程

日次	日にち	都市	移動手段	時間	行程	宿泊先
1	2/16(木)	仙台	仙台空港	13:30	2階出発ロビー集合	樹谷会館
		仙台-台北	飛行機 BR117	16:15発 - 19:30着	仙台空港⇒台北桃園空港	
		台北-台南	台湾新幹線	21:57発 - 23:21着	桃園駅⇒台南駅	
		樹谷園	専用バス		台南駅⇒樹谷会館	
2	2/17(金)	台南市	専用バス	午前	朝食(樹谷会館) 学生同士の交流 & 樹谷の案内 台南市政府記者会見(歓迎会)	樹谷会館
				午後	グループに分かれ、市内で昼食、見学(古跡見学 安平古堡(こほう)ほか) 夕食(台南市政府招待)	
3	2/18(土)	台南市	専用バス	午前	朝食(樹谷会館) 授業(台湾の歴史、台湾の言葉と文化) 台湾茶会(奉茶 愛国婦人館にて) 昼食(弁当)	樹谷会館
				午後	市内見学 孔子廟、台湾文学館、気象館ほか 夕食(樹谷会館)	
				夕食後	授業(台湾の宗教と先住民族の特色)	
4	2/19(日)	台南市	専用バス	午前	朝食(樹谷会館) 奇美博物館見学 昼食(社員食堂)	屏東大洲 花園山荘
		屏東県		午後	屏東県の先住民の村へ移動 先住民文化体験: 達来村(パイワン族) 夕食(部落のパーティ)	
5	2/20(月)	屏東県	専用バス	日中	朝食(屏東大洲花園山荘) バス、ジープを乗り継ぎ、最奥の部落に 先住民文化体験: 阿禮村(ルカイ族) 昼食(阿禮村・屋外パーティ)	樹谷会館
		台南市			夕食後	
6	2/21(火)	台南市	専用バス	午前	朝食(樹谷会館) 烏山頭ダム(八田與一記念館) 昼食(關子嶺-桶子雞)	三合院(農村の 伝統的民家)
				午後	關子嶺(泥温泉) 後壁区菁寮へ移動 夕食(三合院)	
7	2/22(水)	台南市	専用バス	午前	朝食(三合院) ちまき作り、農村体験、菁寮の街あるき 昼食(屋外で、ちまきなど)	樹谷会館
				午後	玩具づくり体験、牛車体験 移動 烏樹林砂糖工場(五分車体験) 夕食(樹谷会館)	
				夕食後	台日学生交流時間	
8	2/23(木)	台南市	専用バス	午前	朝食(樹谷会館) 佛教祈願(佛光山) 昼食(佛光山素齋)	佳佳西市場旅 店(ホテル)
		高雄市郊外			午後	
9	2/24(金)	台南市	専用バス	午前	朝食(樹谷会館) 大洲地区-生態保護に配慮した農村見学 昼食(樹谷会館)	樹谷会館
				午後	アウトドア活動(クライミング体験) 夕食(樹谷会館)	
				夕食後	感謝カード作成	
10	2/25(土)	台南市	ホームビジット先 の自家用車等	日中	朝食(樹谷会館) ホームビジット、佐藤、川合は、市内見学 夕食、交流会(樹谷会館)	樹谷会館
11	2/26(日)	台南市	専用バス	午前	朝食(樹谷会館) 樹谷会館⇒台南駅、昼食(弁当)配布	
		台北市	台湾新幹線、タク シー	地震発生によりダイヤ変更 15:35頃 空港着	台南駅⇒台北駅⇒松山空港	
		台北→東京	飛行機	16:00発 - 19:50着	台北松山空港⇒羽田空港	
		東京	モノレール、JR	20:51発 - 21:19着	羽田空港⇒浜松町⇒東京駅	
		東京→仙台	新幹線	21:44発 - 23:48着	東京駅⇒仙台駅	
仙台	-	-	23:50頃	解散		

## 仙台市と台南市

### □台南市

台湾の古都。オランダ人支配の後、明の鄭成功支配の時代や清王朝時代は台湾の首府となり、政治・経済・文化の中心地であった。その後、日本の占領統治時代を経て、現在は、台湾第4の都市。人口約187万8千人（2012年4月現在）



### □仙台市と交流促進協定締結（2006年1月20日）

七夕を通じた市民交流の高まりを契機としたもので、観光・経済・産業・福祉・文化・スポーツの6つの分野において、両地域の市民、産業界の交流推進を促進する。

### □東日本大震災に対する台南市から仙台市への支援

- 台南市内で募金活動
- 消防隊員の派遣
- 台南市長、議員来仙
- その他の支援（寄付金、応援メッセージなど）

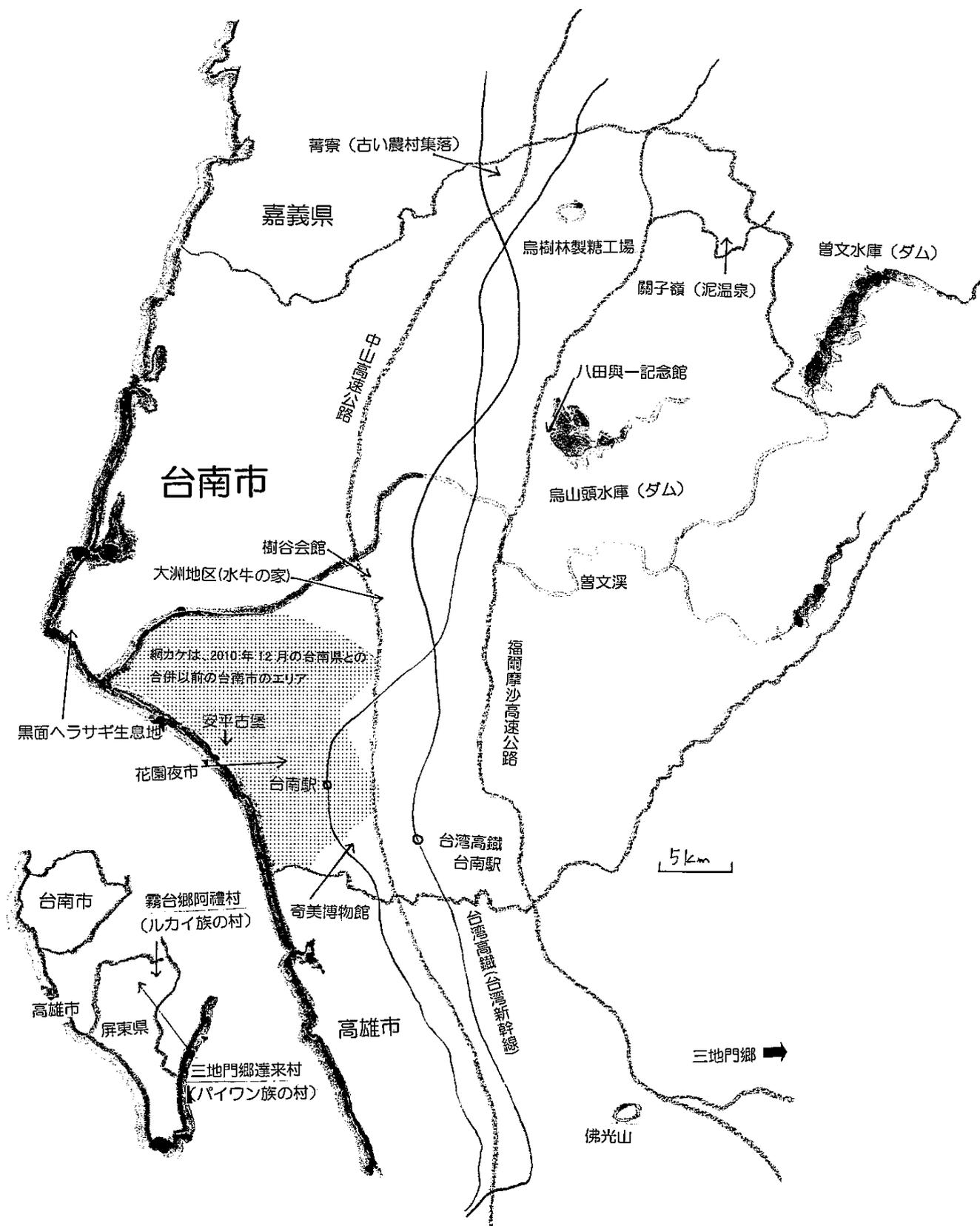
### □「台南市青少年訪問団」が始まった経緯

2011年3月11日に発生した東日本大震災後、台南市政府と台湾屈指の大企業である奇美企業及び樹谷文化基金会在が協力し、交流促進協定を結ぶ仙台の青少年の心のケアに役立てば、という図らいのもと「愛を仙台に送る計画＝送愛到仙台」プロジェクトが企画されました。

仙台の若者に台湾の古都である美しい台南を訪れて、傷ついた心を癒し、困難や復興に立ち向かう力を蓄えてもらいたい、という願いが込められています。

また、現地では日本語を学ぶ台湾の学生がプロジェクトに参加することで、青少年同士の言語、文化交流を促進するだけでなく、日本と台湾の相互理解、仙台市と台南市のより良い関係を願って、台南市青少年訪問団は3年計画で始まりました。





## 事前・事後研修

### (1) 事前研修

	日時	内容
第1回	1月14日(土) 13:30~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(財) 仙台国際交流協会の事業説明</li> <li>・ツアーについて概要説明</li> <li>・仙台市と台南市の関係について</li> <li>・日本/仙台紹介について意見交換、グループ分け</li> </ul>
第2回	1月29日(日) 13:30~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾の文化、生活習慣について</li> <li>・中国語ワンポイントレッスン</li> <li>・報告書作成について</li> <li>・意見交換</li> </ul>
第3回	2月4日(土) 13:30~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュール最終確認</li> <li>・日本文化紹介の練習、打ち合わせ</li> <li>・SIRA から連絡事項伝達</li> </ul>

#### 【参加者コメント】

事前研修では台湾及び台南市の文化や歴史、特産などについて台湾人留学生を招いて勉強したり、それぞれの班に分かれて活動の準備をしたりしました。最初はみんな初対面で不安感が漂っていて、今考えると面白い雰囲気でした。(齋藤宇成)

### (2) 事後研修

	日時	内容
第1回	3月10日(土) 13:30~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツアーの感想など</li> <li>・報告書作成について</li> </ul>
第2回	3月24日(土) 13:30~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツアーのスライドショー観賞</li> <li>・報告書作成について</li> </ul>

#### 【参加者コメント】

台湾の事後研修は台湾で10泊11日を過ごただけあり、みんな和気あいあいと談笑し、かなり距離が近づいたと感じ本当に嬉しかった。研修後も台湾について考える事が多くあり、みんなで集まるのが待ち遠しかったからか、話し声が絶えず幸せな時間でした。(柿崎有希)



第1回事前研修会 初顔合わせでみんなちょっと緊張



台湾出身の王治文氏の講義に熱心に耳を傾ける



Tシャツのデザイン説明



交流会のために歌や踊りの練習！



グループに分かれて、報告書や発表の話し合い



台南市青少年訪問團 報告書

# 活動班紹介

### ☆ちんたお☆

面白い、マッチョ、イケメンの3拍子が揃ったちんたおは台湾でもモテモテ♪  
しっかり者で1班のリーダー的存在！

### ☆いっちー☆

いっちーはめっちゃ文化人類学押してた。  
あと写真好き♪いつもカメラを首に下げ1班の写真をいっぱい撮ってくれた！

### ☆みほりん☆

みほりんはいつも笑顔で女子力高い！  
台南滞在中も台湾学生へのプレゼント準備を頑張っていました。とても頼れる存在です♪

### ☆あやえっぺい☆

明るくて盛り上げ担当のあやえっぺい！  
このツアーを誰よりも楽しんでたね♪  
中国語で会話してた語学力すごかった^^!

### 我らがサポーター！韓さん（鳥さん！）

日本語がとても上手で何といっても優しい！バスに乗る時や道路を渡る時にみんなの安全を気遣ってくれたり、台湾の文化や美味しい食べ物を教えてくれたり…。台南の史跡紹介をしてくれる時に詳しく調べて分かりやすく教えてくれたのが、印象的だった。私たち迎えるためにたくさん勉強してくれたってのが1つ1つの話から伝わってきた。まじめで頑張り屋でちょっと恥ずかしがりや(笑)な韓さんが大好き^^実はワンピースが好きらしい!特にチョッパーがお気に入りとか。

### ～思いで～

移動中のバスの中には、日本人学生に教わった早口言葉を一生懸命練習している韓さんの姿が。「生麦生米生卵」が上手くいえずに奮闘する韓さんに癒されるバス車内なのでした。

学生交流の時間の海帯拳とギャンブル?で1班はダメダメでした(笑)韓さんはすごく悔しそうだったけど、今まで見たことがないくらい楽しそうでした(^0^)新たな一面を見れたし、さらに絆が深まりました♪夜市の時に韓さんの友達と会って1時間ほどのプチ国際交流をした時に、英語と日本語がごちゃ混ぜになった韓さんは可愛かった♪笑

# 1 班



こんな楽しい1班です♪とっても仲良し☆  
これからも交流続けようね^^\*

# 2班

いちゃんグループ!



<p><b>阿部晋士</b> (団長、晋ちゃん)</p> 	<p>涙もろいけど優しくて頼れるうちの団長! by 愛 飲むと泣き上戸になるらしい♪みんな思いの優しい団長! by 堇花 皆のことをちゃんと考えてくれる涙もろいリーダー! by 温美</p>
<p><b>阿部堇花</b> (すーちゃん)</p> 	<p>一緒に行動することが多かった音楽が大好きなかわいい子 by 愛 一見ふわふわしてるけど、しっかり者! the 女の子! by 温美 犬を見るときなりふり構わぬ多才で笑顔なすーちゃん! By 団長</p>
<p><b>百井温美</b> (あっつー)</p> 	<p>面白い!!そして私の話をちゃんと聞いてくれるお姉さん by 愛 ぽやんとしてるけどしっかりしたお姉さん! by 堇花 奔放な3人をしっかり包み込む笑顔なあっつー! By 団長</p>
<p><b>青柳愛</b> (あいごん)</p> 	<p>「朝強いんで。」って言ったけどそれはすぐに崩れました(笑) by 堇花 元気!ある意味うるさいw可愛がりたくなるタイプ(^o^)(笑) by 温美 食べ物あるとなりふり構わぬ変顔なあいごん! By 団長</p>
<p><b>李 依倩</b> (いちゃん)</p> 	<p>可愛くてうちの事をよくみて考えてくれるちっちゃいお姉さん by 愛 ほんとにリスみたいに可愛くて、優しい♡日本語も上手♪ by 温美 いーちゃんは…優しくて真面目で可愛くて頭いい…罪な子(*_*) by 堇花 いちゃーん×2ちっちゃくたっていちーにんまーえー♪ by 団長 (コパンのCM風)</p>

## 2班の思い出 ☆

いーちゃんの「2は一ん! 2は一ん!」とあの紫色の紙を持って叫ぶ声が好きでした。いつも一生懸命で私たちが常に気にかけてくれました。たまに可愛くなる団長、あひる口練習中のあいごん、いつもにこにこしてるすーちゃん。泣き虫2は一ん!が大好きです!ありがとう:) **あっつー**

言いたい放題、やりたい放題!寝ている団長の顔に落書きしたり、夜ご飯そっこのけでアヒル口対決をしたり…(笑)とにかく和気あいあいとして楽しかったです!そしてそんな私たちを温かく見守るいーちゃんの笑顔に班全員がノックアウト!! **すーちゃん**

古跡見学の時、いーちゃんのとれぱんだのリュックにはたくさんの資料が入っていました。一生懸命説明してくれた姿が忘れられません。私たちのためにたくさん準備してくれたことに感謝の気持ちでいっぱいです **あいごん**

あれは学生交流会での話でした。「海帯拳」を教わり、みんなで練習をしました。ほとんどの記憶はいーちゃんのかわいらしさで埋まっていますが、二班メンバーの弱さは尋常じゃなかったよね! **しんちゃん**



## (´3)´3)´3)笑い担当の3班w´3)´3)´3)



**こず(庄子梢)**  
ビジュアル担当。  
見かけによらずアホなところが  
チャームポイント☆



**あーちゃん(櫻場愛梨)**  
ツッコミ担当。  
笑顔でツッコミ続けて11日。  
お疲れさまでした(笑)



**イーウェン**  
しっかり者担当  
みんなをずっと支えてくれました。  
ちょっとお茶目で可愛い。



**しょこ(滝澤祥子)**  
変な顔担当。  
見た目を裏切らずアホ☆  
そして大食漢。フードファイター。



**かっきー(柿崎有希)**  
癒し担当。  
1番いじられ、和ませてくれ  
ました。やらかしてくれたね。

なかなかのメンツがそろった3班！  
終始テンション高めでめっちゃ楽し  
かった！我愛3班！（愛梨）

### ☆☆☆3班の笑いあふれる旅の思い出・・・☆☆

台南の方々に東東レストランという高級なお店に招待され、ビックリ！！私たち3班は団長がスピーチをしている間も話も聞かずにバクバク料理を平らげ、他の班が食べ始める時には殆ど食べ終わっていた…。(かっきー)



あのオレンジ、どうしてあんなにおいしかったんだろう。By しょこ



三合院では度数の高い地酒の米焼酎をもてなされ、沢山飲みながらチンタオ君と美穂ちゃんの結婚式を祝いました～。お酒のおかげで気持ち良くなり、楽しい宴会となってしまうながらも、食事は完食したぜ！おもに祥子さんの胃袋に消えていったのだが…。(かっきー)

#### 最後の交流会&感想

様々な活動を終えた最終日の夜。私たちは10日間を共にした仲間との最後の交流会に参加しました。3班が初めて出会ったあの日、皆不安と緊張でぎこちなかったのに…。3班の中心にはいつも'笑顔'がありました。ハードなスケジュールでも、何か面白いことを見つけては皆で笑い合う5人。イーウェンにはたくさん迷惑をかけたと思います…皆反省してるかー？(-v-)w たくさんの思い出が蘇り、涙で一杯になったあの瞬間、3班の中にしっかりと'絆'が生まれたと確信しました。バカだけど根は真面目な5人が大好き！！3班最高！！3班の皆はイーウェンが大好きです☆ありがとう(庄子梢)



# 活動報告

## 4班メンバー

蘇育宏 石黒弘樹 佐々木 隆 佐々木 平間 綾香 眞珠

### お別れ会

2012.02.25

お別れ会では太陽が4班の一人ひとりに思い出を話してくれました。太陽・4班との思い出で何がいいかな、本当にありがたう！

最後の別れ会は太陽とボラの司会で大盛り上がり！台湾の学生は日本語が上手くて改めて感じました。思い出のサプライズも見たり、お互いの思い出をプレゼントしたり...

あせがちん

### 交流会

阿禮部藩の題目と台湾と日本学生の交流会はチームごとに色々なゲームに挑戦！

海帯巻という台湾の「あつちい」をエッセイかけゲームをしたり、4班は逆転準優勝！

みんなが折り紙も作ったり日本の文化も楽しめました。マミミー！7ー！！

### お別れ会

2012/02/23

### 花園夜市

2012/02/23

今回はメンバーを食事も行きたてた

### 安平古堡

2012年2月17日

写真からまだお互いに慣れしていないせいか距離感を感じる4班太陽チームの安平古堡にこの初日の太陽のガイドのひとツツー開始！

赤い旗に移動

お中継は、杏かき、エビせん、などの台南小吃を食った

花屋敷の唐揚げやカステラ、大福にのりイシカ、その他にも色々なものを食べたゲームしたりお土産を買ったり...メンバーみんなお礼の状もくれた

### お別れ会

2012.02.22

date 2012.02.22

台湾と日本学生の交流会はチームごとに色々なゲームに挑戦！

海帯巻という台湾の「あつちい」をエッセイかけゲームをしたり、4班は逆転準優勝！

みんなが折り紙も作ったり日本の文化も楽しめました。マミミー！7ー！！

お別れ会では太陽が4班の一人ひとりに思い出を話してくれました。太陽・4班との思い出で何がいいかな、本当にありがたう！

最後の別れ会は太陽とボラの司会で大盛り上がり！台湾の学生は日本語が上手くて改めて感じました。思い出のサプライズも見たり、お互いの思い出をプレゼントしたり...

あせがちん

# 5班

## メンバー



ちゃんはる (鈴木 春菜)  
さり (佐々木 沙織)  
てんてん (天満 和人)  
カイトィン (黄 楷婷)



みんなの緊張した空気が伝わってきます。台湾で一緒に活動するサポーター探しの瞬間、私たちは誰と一緒に活動する人になるのか不安とともにドキドキわくわくでした。

与えられたヒントは「髪が長い、手足が細い、銀魂好き」。いやいやこれはアバウトすぎてわからない!と思いつつも無事、カイトィンと巡り合うことができました。

5班全員集合の瞬間、まだまだぎこちないながらも、これは楽しくならないわけがない!と確信しました。てんてんにとって、さり、ちゃんはる、カイトィンと、素敵なお姉さん方に囲まれた幸せな旅の始まりでした(笑)



台南ライフはボリュームーかつ美味しい朝食からスタート。お腹を満たし、いざ出発!と台南サポーターたちが号令をかけます。1班よし、2班よし、……、5班「さりがまだ来ていませーん!笑」。そんなゆったりと流れる台南の時間に一番馴染めたであろう3人と、これまたおっとりスローテンポなカイトィンのとある1日です。仲良し4人組はバスも常に近くの席をキープ!和気あいあいと日本語・中国語講座に励んだり、睡眠をとり、睡眠をとり……。車内は体力回復の場でした(笑)。ばっちり休養を取った私たちは常に元気100倍です。共通点である「写真好き(決めポーズ率の高さ!)」と「胃の強さ(好き嫌いほぼなし!)」を存分に発揮します。唯一の台湾人でありながらまさかの方向音痴というカイトィンに、足短のため歩くのが遅いちゃんはる、車酔いや熱中症予備軍と戦った元気印さり、3姉妹の末っ子てんてんがせっせと続きます。濃厚な毎日の生活の中で4人の絆は日々強まっていきました。



日を重ねるごとに仲良くなっていく5班は夜市でも大はしゃぎ。タクシーでの移動でもすべて食べ物の話!こればかりは話が尽きません。笑 たくさん食べたいから「1・2人前頼むことにしよう!」と食べ歩き回る4人組!20年間台湾食に触れてきたSARIと以前夜市を楽しんだちゃんはるは知っている、臭豆腐の存在に気付いた時には屋台の後ろのテーブルにカイトィン…今回も挑戦するが敗北。カイトィンは美味しいと食べる横で頑張っているてんてんが神に見えました(^.^)いつか美味しいとってやる!夜市といえば何と言ってもファッションコーナーの安さ!お目当ての下着をとピョンピョン回るちゃんはるに目のやり場に困っているてんてん(笑)。途中でツアーの通訳者ひかりさんとも合流し、一気にガールズモードに…しかしさすがてんてん!アルバイト経験を生かして的確にこっちが良いとセンスの良さを発揮!満腹になり一回りした私達は、一足早くホテルに戻りアートロードになっているホテル近郊をひかりさんのガイドで散策。夜、ライトアップされたアート達は昼間に見るのとは違う幻想的な空間で、夜市よりも写真を撮ったのではないかと思いました。近くファーストフード店で時間も忘れて話しているいつの間にか集合時間に。時間に追われながらもそれ以上に楽しめた一夜でした。

# 6 班

WE ARE  
ベラ☆TEAM!



### Q1. メンバーの印象は？

たあちゃん：めぐは、病気なこともネタにになってしまうくらい面白い。ぶっちゃけ天然だよな。

はるな：私は、めぐは大学の後輩ってことで親近感を抱いていたよ～

めぐ：私、たあちゃんは最初は静かでまじめだと思ったけど、そうでもなかったね！（笑）たまに可愛いよね～^^見た目はおっさんに見えるけど、中身は少年！

はるな：確かに（笑）たあちゃんこの中では1番年下だったけど、すごくしっかりした考えを持ってるよね～

めぐ：はるなさんは、最初と最後ではギャップがあった！最後は女の子だった！

たあちゃん：え！めぐ、最初はるなのこと男だと思ってたの？！（笑）

めぐ：違うけど～(; ; )うまく言い表せない！

たあちゃん：まあ、俺は、はるなはアルバイト一緒だったし、親しみやすかったよ。飯をよく食べるからいいやつだと思う。

### Q2. ツアーの中で印象に残っているのは？

めぐ：私、実は集団行動が苦手で～…不安でした…

たあちゃん：んじゃあ、俺たち3人も集団行動苦手だったってことね（笑）

はるな：最初にゲームでベラを探したじゃん！^^あれ、かなり難しかったよね！（笑）

めぐ：本当！ベラの印象は…“日本語がうまい！”

たあちゃん：クイズのヒントに「天然パーマ」あったけどさ。見てすぐに“違うじゃん！”と思った（笑）しかし、これだけ仲良くなれたし、縁を感じるよね～^^

めぐ&はるな：ほんと縁を感じる～

はるな：私、孔子廟好きだったな～！ベラのガイドのおかげでたくさん勉強できたよね！

たあちゃん：「すべての学問の中心には心がある」ということで、字の真ん中にも“心”があるというのが感動した！

はるな：海帯拳ゲームのときは、めぐがすごく活躍したね！^^

めぐ：実は…裏話なんだけど、あの時から、具合が…自分が自分じゃないみたいなの（泣）あ～！夜市とかお寺とか、私も行きたかった！…でも…豆花が好き（はーと）

たあちゃん：ツアーの中で、俺が1番楽しかったのは、めぐと過ごした日々だよ。



孔子廟にて集合☆仲良しベラチーム最高！

### Q3. 最後に一言！

めぐ：途中で体調を崩したのが、悔しいという気持ち大きいです。たくさん出会って、人との出会っていいなあと思いました。

たあちゃん：食べることはいいな～と改めて思いました。

はるな：この世の中にはいい人しかいないなあ～と思いました^^

## チーム 7班 フードファイター～お残しは許しませんでえの巻～

**木皿瑠美** 台湾流春巻き！トルティーヤのような生地に野菜やナッツや豆腐や海鮮などが入っているもの。一見しょっぱい食べ物を想像しがちですがこれが砂糖が入っていて甘いのです！一気にかぶりついたらいろんな味がお口の中でケンカしていましたが一つ一つの素材と向き合ってみたらおいしくいただけました（^ω^）私は甘いのはタピオカミルクティーだけで十分です（笑）特に大きい粒のタピオカは弾力があっておいしいですよ～！



**真壁さくら** 2日目の夕飯は「東東」という高級（！）レストランにて、台湾の伝統的な料理を堪能しました♪台湾料理フルコースはかなりボリュームミー。ここから我らフードファイターの歴史が始まった…（笑）お皿を下げられそうになるたびに「Please wait!!」という紘さんのセリフが忘れられません（^ω^）★台湾料理独特の香りにノックアウトされる



メンバーもいたとかいないとか…。デザート「豆花」は、杏仁豆腐というよりまさしく「豆腐」！甘くなくてびっくりしました（笑）

**武政明日香** ここで紹介するのは原住民の食事です。素朴で、エキゾチックで、どこか懐



かしくて…日本人の口にあう料理でした。目にも鮮やかな黄色の焼き芋はとろとろであまくて、お芋大好きな私にとっては忘れられない味でした。衝撃のイノシシ肉は思ったより臭みもなく、甘辛い味付けでいくらでもご飯がいけるんです♪個人的に一番気に入ったのが、粟のお餅であんこを包んだ粟団子☆葉っぱにくるまって蒸されていて、和菓子にもありそうな、親しみ深い味わいでしたね☆7班メンバーはみんなで何個もがつつきました（笑）

**佐藤結** なんといっても丸鶏を豪快にさばき一匹ペロリ！この経験は味ともに忘れられない。軍手を渡され、説明ゼロで鳥さんの解体開始。柔らか～なお肉で、噛めば噛むほどスモークの香りとともに味が濃くなり鳥さんの爪まで堪能！他には、自分たちで作ったちまきは最高！もち米のモチモチしたお米に笹の葉の香りがふわあっと漂い、中には角煮、甘じょっぱい漬物…もち米に合う！欲張らず適度なサイズで包んで挙げるのがポイントです♪



## 7班全員集合～！



ティナは、11日間のフードファイトの戦いに見事勝利しました。ティナがいてくれたから、私たち7班は毎日楽しく台湾の歴史、文化、習慣などたくさんのお話を学びました。私たちはティナのお話が大好き、そして台湾が大好きになりました。小籠包、好吃～！！ティナの♡親一個♡に癒された☆ティナに出会えたことに謝謝！これからもずっと繋がっていよう。



8班は、チームリーダーゆいの「ハチー！」という一際大きな掛け声がとても印象的でした。8班での活動は本当に楽しかった！しなことみくりがバスである事件を起こしたり(笑)、私が夜市で迷子になりかけたりと、問題児ばかりのチーム(苦笑)だったけれど、優しいお姉さんの存在あきさんと、しっかり者のゆいとで、いい感じに調和のとれた素敵なチームでした！8班でよかったあ♪と心から思います(\*^^) (鈴木 静花♡お母さんのような優しさ)

しなことは、11日間ほとんど一緒にいました。双子みたいと言われて嬉しかったです。あきさんは私たちを引っ張ってくれた素敵なお姉様です。しずちゃんは部屋が一緒でお母さんのように安心させてくれました。ゆいは8班のみんなをまとめてくれました。優しく見守ってくれました。11日間ありがとうございました。8班のみんな大好きです。これからも仲良くしてください。(柳川実来里♡目指せ!ハリウッド女優)



YUI♡うさぎのようにかわいくて、しっかり者のお姉さま



8

初めての台湾。片言の中国語・台湾語。蚵仔煎。甘い冬瓜茶。トイレの常習犯。時間感覚?の部落への道。鳥の丸焼き。たくさん食べてたくさん遊んだ夜市…8班のみんなと数えきれないくらい、素敵な思い出を作ることができて目黒はと〜ても幸せです。しなご謝謝!実来里謝謝!静花謝謝!そしてしっかり者のチームリーダーゆい!謝謝!!8班大好き☆(目黒亜季♡みんなに愛されるしっかり者のお姉さん!)

黒髪美女のゆいに率いられながらも道中、色々やらかすのが私たちです。まずあきさん。日差しが強いからって、ほっかむりは如何なものでしょう。かわいさに圧されてツッコむの忘れてました。みくり、自他共に認める問題児だよね。ゆいの「みくり大丈夫?」は、一日に3回は聞きました。それからしずちゃん。デジカメの外箱は持ってきたのに、充電器ないってどういうこと?今さらですが、出発前に箱の中身を確認しましょう。そしてゆい。欠点がなさすぎる!絶対いいお嫁さんになるよ!ゆいを中心に、まるくおさまる8班でした☆(品川彩子♡8班のトラブルムードメーカー)

台南市青少年訪問団 報告書

# 団員レポート



## ★ 2月16日(木) ★

### □出発と宿泊先（樹谷会館）

空港でのみんなはこれから始まる研修にわくわくしているようでした。互いに写真を撮りあう様子や談笑する姿からはとてもリラックスしている雰囲気を感じられました。しかし仙台の代表として参加し、台南からの震災支援に対するお礼の気持ちを伝えるという使命感が時より見せるキリっとした表情から感じとれました。そうした姿は団長が出発式で挨拶をしている時にひしひしと伝わってきました。これから訪れる台南に期待と不安を持ちながらのチェックインだったのではないのでしょうか。台湾に着いてから頂いたお弁当のボリュームに負けなかったのはたーちゃんくらいかな。主な宿泊先の樹谷会館に着いたのは深夜だったのでみんな疲れていました。（青島翔平）



## ♥ 2月17日(金) ♥

### □学生との交流

学生同士の交流では台湾の学生当てクイズをしました。学生の特徴（ヒント）が書かれた紙を班ごとに配られ、それを見て当てるというゲームでした。その時に分かるのが自分たちの班のサポーターでした。そして班ごとに交流をしました。その後日本・仙台のクイズをしました。日本人は答えを言ってはいけないので、台湾サポーターにヒントを出すのが大変でした。そして、仙台の現状や仙台市についての紹介を写真を使って発表しました。皆真剣に話をきいてくださいました。この交流の始めは会ったばかりで皆少し緊張していましたが、日本・仙台のクイズからだんだん会話の数が増えました。台湾の皆さんと仲良くなることができ、本当によかったです。（青柳愛）



### □台南のグルメ、古蹟 - 安平古堡

台湾には様々な国に統治されていた歴史があります。安平古堡(あんぴょんこほう)の歴史は世界で最初の株式会社、オランダ東インド会社の時代までさかのぼります。日本では江戸時代です。オランダがマカオ占領を図った際にこの古堡は建築され、台湾の最初の統治時代、オランダ植民統治時代が始まります。オランダ統治の中心地として位置づけられ、その後の明朝統治時代には鄭氏の三代にわたる王城としても使用されていました。その後数回立て直しが行われ、現在は建築当時とは異なった形で残っています。オランダ統治時代に築城された際は一つの島を丸ごと砦にした形でしたが現在は陸続きになりその点だけにおいても400年の歴史の深さを感じます。(阿部晋士)

### □東東レストランでの食事会

円卓が並ぶ店内には大きな「送愛到仙台」のポスターが私達を迎えてくれた高級レストラン。ここではフルコース料理を堪能しました。前菜からデザートまで計11品。目の前で茹でられた擔仔麵や、サクサクとした衣の中に蝦とひき肉と魚のすり身などの餡が入っている安平蝦捲、台湾の有名な小吃の一つである安平豆花など台湾の特色ある料理ばかりを頂きました。台南の料理は甘く香りが強いという独特な味わいですが、テーブルを囲んだ仲間達と楽しく会食して、とてもお腹いっぱいになりました(^\_^)そして、何よりもこんなにも心厚く歓迎してくださった台南市政府には感謝の気持ちで胸がいっぱいになった食事会でした。(あべすみれ)



♪ 2月18日(土) ♪

### □台湾茶会(愛国婦人館にて)

台湾に来て3日目の2月18日に台湾茶会を愛国婦人館にて茶師の方と行いました。茶師の方が入れてくださった台湾のお茶は何度も入れていただくごとに味わいに深みがでてきてとても美味しく頂くことができました。同時に出てきたお茶菓子との相性も良く美味しく楽しく充実した台湾茶会の時間を過ごすことができました。

また歌姫とイケメンギタリストの方が一青窈さんの「ハナミズキ」でもとても綺麗な歌声と演奏を私たちに披露してくださいました。私達も一緒になって「ハナミズキ」を歌ったり、最後には一緒に写真を撮ったりしてお互いの友好を深めることができました。

この日台湾のお茶の良さを知った私たちは後日大多数の人が台湾のお茶をお土産に買って帰りました。(石黒弘樹)



### □甘〜い春巻きに驚愕!しかし勉強は甘くない?

18日の昼食は春巻きでした。この春巻き、かなり大きくて具たくさん!野菜に香草、お肉など、何種類もの具が入っているので一口一口味が変わるんです!けれどもやはり台南。台湾南部の人々は甘いものが大好きなので、例に漏れずこの春巻きも甘いのです!煮たお肉に砂糖が混ぜてあり、そのジャリジャリとした食感が日本人には奇妙に感じられますが、夏に猛暑となるこの地域では、暑さに負けないためにも丁度いいのかもしれない。

お昼を食べた後は隣の果物屋さんでかき氷を食べました!実はここの店長さんも、ツアーを支援して下さった方なんです。かき氷は日本で食べる倍以上のボリュームで、色とりどりの果物がトッピングされます。

メンバーと分け合いながら、台湾かき氷を味わいました。

食事が済んだら孔子廟へ!ここには孔子の弟子や、後に孔子の教えについて学んだ人々の位牌がたくさんあります。そして写真に写っているのは実際に人々が勉強していた建物。私たちが腰かけているのは先生が座っていた椅子です。その昔、この前に生徒が並んで勉強していたそうです。先生に近い場所には上級生、遠い場所には下級生が座り、質問は先輩にしか聞くことは許されません。その先輩も分からなかったら更に前の先輩へ、その先輩も分からなかったらまた更に前へ…先生に質問することが許されるのは、なんと一番前に座っている最上級生の生徒のみだったとか。そんな厳しい規則の中、人々は勉学に励んでいました。(一條文佳)



#### □葉先生が教える台湾の姿

18日の夜に台湾の宗教、先住民族(原住民族)の特色についての授業を葉先生にさせていただきました。

台湾人の多くは道教、仏教を信仰しており、宗教との結びつきが強い国です。また、正式に認定されている民族は阿美(アミ)族、排湾(パイワン)族、魯凱(ルカイ)族など14民族で、それぞれの多様な文化を持っています。私達が実際に訪問した部落を例に挙げると、排湾族はトンボガラスをシンボルとして持ち、現在でも重要な祭典の際には必ずガラスを身に着けるといいます。魯凱族は歌が生活と密接にかかわっており、歌で人を励ましたり、疲れを癒したり、祭典などでも必ず歌を歌うそうです。私達が訪問した際も歌で歓迎してくださいました。授業で教えてくださったことをもとに実際に体験することで、より理解が深まったように感じます。(大友美穂)



♡♡♡ 2月19日(日) ♡♡♡

#### □奇美博物館

奇美博物館は、奇美(CHIMEI)グループが社会から得た利益を社会へ還元する、という粋なはからいで市民に開放されている博物館。驚くほど多い展示物は絵画や動物の剥製から、化石、武器に至るまで多岐にわたります。自動演奏楽器、すごかったですね!会長さんはご自身も絵を描くそうで、以前は一番お気に入りの絵画『河畔浴女』を模写して本物と並べて展示していたそうです。今回は見られず残念でしたが、どちらが本物かわからないほどだったとか。個人的にはデラクロワやラブレールなどフランスの画家の作品が目白押しで大興奮でした!ピカソの習作がさりげなく展示してあったのですが、皆さん気づいてましたか?社食でいただいた日本食弁当、ごちそうさまでした!(武政明日香)



### □先住民生活体験、先住民のオリジナル料理

着いてからすぐに、入村の儀式のような歓迎をうけ、私たちは手の甲にシールタトゥーを貼られ、頭には草で作った冠を着用し村へと一行は移動した。移動の途中には細く、長い橋を怖がりながらも無事渡りきり村へと近づいたかに思えたが、急に雨が降り出しさらに道は険しくなっていく、貰ったカップが湿気でとても暑かったのを覚えております。みんなも暑かったのかな？

村にやっと入ることが出来、原住民の方々が歌を披露して下さったり、さつまいものスープをご馳走になり、また草の冠作り体験や、狩りのための弓を使った的あて体験など普段日本ではなかなか出来ない様な、貴重な経験をさせて頂き本当に有難かったです。(柿崎有希)



### □夜の宴からの MOTEL

原住民のお食事を楽しんだ私たちは排湾族のシンボリック的文化であるトンボガラス作りを体験しました。このトンボガラスの色鮮やかな模様にはそれぞれに意味とストーリーがあるんですって。その後はみんなで三地門文化館に戻り原住民の音楽と踊りでスーパーハイに！力強くて心に響く歌声でしみりした後、最後にみんなで大きな輪になって踊り楽しい夜を過ごしました。これで終わりかと思いきや私たちの夜はまだまだ長い！この日の宿泊先でみんな？一部？はまだまだ元気！長い長い一日でした。この天蓋付きベッドに寝ているのは誰でしょう？

ヒントはこの日のこの MOTEL から合流した・・・(木皿瑠美)



★ ★ ★ 2月20日(月) ★ ★ ★

### □自然の力を感じた阿禮部落での体験

阿禮部落は海拔 1200 メートルという高地にあり、様々な自然体験をすることができました。部落では愛玉とよばれる食べ物を作り、日本で食べた味とは大分違った植物そのままの味を味わうことができました。お昼ごはんではイノシシの肉、バナナの葉にくるまれた餅、粽など山の中での生活を生かしたおいしい食事を体験できました。私がこの部落で一番印象に残ったことは、部落に向かう途中に目の当たりにした台風での土砂崩れの痕でした。私達は震災をきっかけにこのツアーに参加しましたが、改めて世界で様々な自然災害が起こっているのだということ、その恐ろしさに気付くことができました。しかしそれでも自然と共存していく人々を阿禮部落で見てから、これから私達がどのように震災と向き合っていくべきか、ということをもさらに考えさせてくれるきっかけとなりました。(今野愛美)



□映画鑑賞

映画鑑賞では日本と台湾を結ぶ大きな懸け橋となる八田與一の業績を描いたアニメ映画を見ました。映画の中では、日本から来た八田がよそ者扱いされながらも人々の安定した農業のために試行錯誤を重ねてダムを造りあげる姿と、それに心打たれる台湾の人々が描かれていました。正直この場所を訪れるまで八田與一を知らなかった私はこの映画を見ることで日台友好の源を知ることができました。一人の人物の存在が国と国との長い友好関係を築く。人間一人の業績がここまで人の心を動かすということを実際に現地学ぶことができ本当に良かったです。(齋藤宇成)



🎵 2月21日(火) 🎵

□八田與一記念館と烏山頭ダムと幸福祈願w

八田與一記念館：八田與一は烏山頭ダム建設の第一人者であった日本人で、台湾での認知度は抜群の有名人！記念館には八田さんの写真や年表、記念品などが飾ってありました。

烏山頭ダム：嘉南平原の農業灌漑を目的に作られたダムで、空から見るとサンゴのような形をしているため、別名「珊瑚湖」とも呼ばれています！

ダムの近くには、作業着を着て頭に手を添えながらダムを眺めて何か考え事をしているような表情の八田さんの銅像がありました。ダムの周りは施設がたくさんあり、当時の家屋などの展示もあり、そこではみんなでお祈りカードを書いてお願い事をしてきました (^ ^) / (櫻場愛梨)



### □茶壺鷄など台湾の食にふれて…

2月21日の昼食は茶壺鷄を食べました。壺から出てきたのは、足も頭も全部ついた鷄！食べ方もよく分からないままみんな試行錯誤に素手でさばき、骨ごとかぶりつきました。肝心な味はというと、あまりクセはなく香ばしくて美味しく感じました。日本では見られない姿にみんな興奮しながら食べました。



さて、台湾の食は日本で食べる中華料理とはかけ離れた物が多かった気がしました。多くのものが香辛料と砂糖がたっぷり日本人にはあまり馴染みの無い味で、私自身その味に慣れるまで一週間程掛かりました。ただ慣れれば美味しいものばかり！今度行くときはグルメを是非楽しみたい☆（佐々木愛）

### □泥温泉

私は泥温泉に行くまで、泥まみれの温泉に水着で入るのかと思っていました。でも実際は、大きな桶に入っている泥を体や顔に塗って入るというものでした。その日は、ちょうど雨降りでしたが、泥温泉は屋根がついていたので予定通り楽しむことが出来ました。日本では毎日お風呂に入っていたのに、台湾に来てからはシャワーでずっと立ちっぱなしというスタイルだったので、日本人学生にとっては特に癒しのひと時でした。この泥温泉は美白効果があるのか、風呂上がりみんなは前よりも若干肌が白くなっているように見え、早速効果が出ていました。（佐々木綾香）

### □台湾郷土伝統の宴会～結婚式～

私が担当した訪問レポートは、台南訪問6日目・2月21日の夜の宴会についてです。新郎にはちんたお（青島翔平さん）、新婦はみほりん（大友美穂さん）が選ばれ、夕飯を含めた台南の伝統的な模擬結婚式が行われました。綺麗な衣装で出てきた2人は伝統的な宴会の作法をその日お世話になるお母さんに教わりながら、宴会は始まります。丸いテーブルに親族達（私達）が座り、テーブルの真ん中には漢方薬が調味料として多く入っているスープや38度の焼酎に似た台湾のお酒、飲み物などが並び、これから運ばれてくる料理を楽しみにしていました。伝統料理・海老の片栗春巻きや野菜炒めなどが登場し、一気に会場は盛り上がりを増しました。宴会中に新郎新婦が全員に感謝をこめて乾杯しに回ったり、親族達からご祝儀を頂いた後、お返しに新婦が健康を祈ってお茶を配る儀式があることなど伝統的作法を学び、私達も良い体験をさせていただきました。（佐々木 沙織）



### □台南で結婚!?

台南の伝統家屋でパーティーがあった時に結婚しました。その時の衣装は鄭成功時代からの伝統衣装だそうです。とても肌触りの良い素材で、ゆったりと作られていたので着やすかったです。結婚式が始まる乾杯の挨拶の時はみんなのカメラが目の前で一斉に光って有名人の気持ちを一瞬だけ体験しました。なかなか味わうことの出来ないフラッシュのあらしでした。頭に被ったものが以外と重く、服の袖がちょっと長かったので食事は摂りにくかったですがカッコいい服を着ることができて幸せでした。あとお米のお酒がすごくおいしかったので調子に乗って飲んでいたら顔が真っ赤になりました。香華さん心配して頂いてありがとうございます。（青島翔平）

三合院での宴会の時に、伝統的な結婚式を体験させていただきました。赤を基調に、鮮やかな色で装飾された衣装はとても綺麗でしたが、重かったです(笑)グラスを持って各テーブルへ挨拶回りに行き、たくさんの祝福の声をかけてもらいました。私も早く本当の結婚式がしたいなー、と思いました♪個人の旅行では絶対にできない貴重な経験ができ、とても嬉しく思います^^ (大友美穂)



### □三合院に泊まる！！～蚊帳の中で晩安♪～

三合院とは、中国の伝統的な家屋の基本形式。建物は、三方向に部屋を設ける形のため三合院と呼ばれている。部屋は、湿気が多いため地面から1mほど高くなっており蚊帳(かや)がつけられている。この時期も蚊が多かったが夜は蚊帳パワーで一匹も食われなかった。一部屋のスペースは、6畳ほどで女子5名が横になれる。畳は日本統治時代に持ち込まれたようだ。

蚊帳の中でみんなと寝る経験は、昔にタイムスリップしたかのような家族団欒の大切さを感じる一夜であった。インタビューに応じて下さった83歳の黄にんべいさんは、台湾で一番美味しいお米を作っている有名な方。日本語がとても上手で日本語で会話することができたことに驚いた。(佐藤紘)



## ★ 2月22日(水) ★

### □粽づくり

青空のもと、三合院のお庭で粽づくりが始まりました。まずは葉っぱを三角の筒型に折るのですが、簡単そうに見えて実はコツがいるのです！四苦八苦しながら折った筒の中に、お米と豆、お肉を入れていきます。入れ過ぎると蓋が閉まらなくなるので要注意！欲張りは禁物です。

蓋をしたら粽を紐でくくっていきます。これも難しい！三合院のお母ちゃん方の手を借りて、何とか終了！あとは窯でゆでて、出来上がりを待つのみです♪

老店巡りを終え、公園でかかし鉛筆を作っていると、なんと粽が到着！お母ちゃんありがとう！とっても美味い！疲れた体に粽が染みわたる！日本人と台湾人は米食文化で繋がっていると強く感じたのでした。(しながわあやこ)



### □農村生活&老舗を散策

2月22日、私たちは三合院でのちまき作りを終えて町の散策へ。農村生活体験ということで、農業の肥料やりを手伝わせていただきました。皆、普段はなかなか経験しないこともあってできるのか不安もありましたが、そんな心配はご無用。皆楽しそうに笑って作業を進めていました。気づくとあっという間に終了。すると、私たちの訪問を聞きつけた近所の小学生が集合していて、一人ひとりに特製トランプを配ってくれました!

農業体験でもお世話になっておじいさんがやっているお店へ行ってみると、美味しいおつまみを配ってくれました。そこでたまたま訪れていた高校生軍団と一緒に写真撮影。素敵な交流の時間でした★(庄子 梢)



### □☆DIY~Do It Yourself☆

DIYとは、いわゆる物づくり体験のこと。このツアーではいくつかのDIYをしました!!パイワン族の部落では、工芸品のトンボ玉づくりを体験。職人さんに手を取ってもらいながら模様付けをして、世界に一つしかないトンボ玉ができました☆また、カカシの玩具づくりも体験しました!出来上がりはこんな感じ♪(写真)他にもルカイ族の部落で葉づくりや愛玉(植物の種から作るゼリー。なんとゼラチンいらず!)づくりをしました。DIY以外にも牛車体験があって、最初は初めて間近で見る牛に圧倒されてしまいました(汗)実際に乗ってみると、意外と安定感があって良い乗り心地♪本当にたくさんの貴重な体験ができました!(鈴木 静花)



□烏樹林砂糖工場で恋をつかむ！？

キジュマルの木漏れ日が差し込む「烏樹林砂糖工場」。社長と室長が温かく迎えてくれた。工場と列車の解説を聞いていると、次第に学生の表情に変化が…。なんと施設内に結婚運UPの列車があるとのこと！見つけることができた人は幸せを掴めるらしい。各々必死に探すこと20分…。列車は意外と目の前に（灯台もと暗し！）。幸せの列車の前で記念に1枚。みんなに幸あれ！！白熱した捜索劇の後は、しばしさとうきびの試食でブレイクタイム。その後は、当時サトウキビなどの原料を運送するために使用していた「五分車」を体験。アイスクャンディに舌鼓をしながら、車窓から見える自然あふれるどこか懐かしい風景を横目に大盛り上がり（笑）（鈴木春菜）



□交流会

夕ご飯の麺は、スープと麺が別々の袋に入っていてカップの中に自分たちで入れました。苦労しながらも上手に入れることができました。添えつけの香辛料が思いのほか辛かったですが、おいしく頂きました。台湾学生との交流会では、海帯拳という台湾のゲームを覚えてもらい、班で対抗戦を行いました。あっち向いてホイのようなゲームだったのでみんな激しく熱中し、代表者の勝敗に一喜一憂しておりプロレス会場のようになっていました。その後行ったコインのゲームも、初めて味わうカジノのような雰囲気で大盛り上がりでした。班の中で何枚コインを出すか、大いに議論が沸きました。より一層、みんなの絆が深まった気がしました。（滝澤祥子）



## ♡♡♡ 2月23日(木) ♡♡♡

### □佛光山

佛光山は多くて1日20万人もの来場者のある台湾最大とも言える仏教寺院だそう！仏法を広く人々に伝えるだけでなく、福祉の活動や生涯教育などの人材育成にも力を入れている。また、世界各地に寺院が設立されており、日本にも東京、名古屋、大阪、福岡などに佛光山寺があるという！ここでは、仏陀の生涯を4Dのショートムービーで見た。多くの人に興味を持ってもらえるように工夫されていることがうかがえた。



4Dのショートムービーによる仏陀の紹介方法や日本にも別院があることなど、古今のつながり、台湾と日本のつながりを感じた場所であった。(小山田陽奈)

### □CHIMEI 会長 許文 龍氏の言葉

なんと、私たちは今回のツアーの最大の協賛企業である CHIMEI の会長さんから直にお話を伺う機会をいただいた。彼は終始にこやかに、しかも立ったまま私たちに流暢な日本語で話しかけてくれた。その姿はとても84歳には見えなかった。彼の歴史観から聞く日本統治時代の話からは「なぜ台湾は親日か？」という問いの一端を知ることができた。



彼の話のなかで最も印象に残ったのは、お金の使い道の話だ。いくら成功して莫大な財産が得ようともいつかはなくなってしまふ。それなら後世に残せるものは何か？それは文化と医療である。よって財産を息子に譲るわけではなく、文化を保存するためミュージアムを建設したのだ。彼の言葉には確信があり、力強かった。私もいつか誰かに語ってみたいものである。(天満和人)



### □絶滅危惧種・黒面ヘラサギ ウォッチング

『ラ～プエ ラ～プエ プエ ラ～プエ～』台江国立公園での大合唱は忘れられない。黒面ヘラサギを保護するため、環境への意識向上を目的に作られた「撓片不兮歌」を口ずさみながら望遠鏡を覗き込む。世界にいる2000羽うち、台南市にはその半数が越冬に来るということで、この日もたくさんの黒面ヘラサギを観察することができた。この地域では漁業の発展と共に繁殖した。黒くて長いしゃもじのような口ばしを使ってサバヒーなど小さな魚を食べるといふ。国が力を注いでいるこの保護区は、彼らにとってなんと贅沢な別荘であるようだ。くつろぐ彼らを見ながら、生態や環境について学ぶことができた。(平間 眞珠)



□夜市、朝市、ホテル

23日の夜、待ちに待った夜市に繰り出していきました(^ω^)! 花園夜市は木曜・土曜の週2で開かれており、私達は平日訪れたのにも関わらずものすごい人ごみに圧倒されました。グルメ・娯楽・衣料雑貨と3つのスペースに分かれており、安価で満足できるひと時を過ごすことができますよ! 宿泊先である佳佳西市場旅店はすべての部屋の設計が台南の文化ストーリーと芸術概念に基づいて設計されていて、全部屋のデザインが異なっています。高級ホテルで至福のひと時♪24日の活動は水仙宮市場(朝市)から始まりました。時間が早すぎて店舗の多くは開店前でしたが、並べられた野菜達の色彩、肉を捌く豪快な音は私達をわくわくさせました★(まかべさくら)



♪ 2月24日(金) ♪

□大洲地区—生態地区の建設

この地区は、財団法人樹谷文化基金が大洲地区を循環エネルギー・資源の環境教育基地として建設した場所です。これは企業責任としてのエコ活動でもあるそうですが、樹谷グループがいかに自然を大切にしているかを表す場所でした。この地区にあるものは全て自然で作られていて、時給自足が出来る場所です。人間が天と地、動植物に感謝し、大切にしながら共存していくことが出来る場所だったと思います。自然を大いに、上手に利用していくことで廃棄物を減らし、資源のリサイクルと循環に成功している場所ということで、環境問題が課題となる現代には貴重な場所であり、学ぶべき部分があると思います。水牛小屋の壁作り体験が出来た素敵な場所でした。(百井温美)



□OBT-TA アドベンチャーカリキュラム：ロッククライミング

樹谷会館に隣接する運動場でロッククライミングを行いました。このツアーも終盤ということで、お疲れの人は部屋で休憩、体力のある人のみの参加となりました。会館の建物内で、インストラクターの説明と練習を行った後、運動場へと場所を変え、いよいよロッククライミング!! 二種類のクライミング台のうち、私が体験したのは、小さな石ころがたくさんついているタイプ。実際に登っていると、どこに手足をかければいいのか分からず、下で見守るみんなのアドバイスが心強い助けとなりました。久々の運動…残りの2,3日は筋肉痛との戦いだったことは言うまでもありません!! (目黒亜季)



## ♡♡♡ 2月25日(土) ♡♡♡

【ホームビジット（李 瑞花さん&楊 豊誌さんと）】

私（写真左から2番目）とたーちゃん（写真左から3番目）はもともと別々のホームビジット先だったのですが、台湾の方が大学の教授と助教授の関係ということで一緒に行動することになりました。お2方とも日本語ができないということでコミュニケーションをとるのに苦労しました。しかしとても上手とは言えない英語と身振り手振りでもお互いを理解しようとすれば言葉が通じなくても分かり合えるのだと学ぶことができました。写真は市場でのもので、台湾の方々が気さくに声をかけてくれたり、大量に試食をさせてくれたりと台湾の方は本当に親切な方々ばかりなんだと改めて感じました。（石黒弘樹、齋藤宇成）



紘, 明日香, 亜季, さくら

張さん、林さん一家と奇美の社長の別荘に行きました。広大な敷地は、東京ドーム8個分！ダチョウ、アヒル、寄贈されたポニー、黒やぎ…まるで動物園！他にも、有機栽培のイチゴ、生とうもろこしをごちそうになりました。とてもハウチ～！奇美の社長は気さくで、とってもダンディなお方です。



その後、嘉義市へ移動し交趾陶館、木彫りの展示、地震博物館を見ました。お昼には、鴨料理のお店で、鴨そば、ダチョウの卵などをごちそうになり、またもやハウチ～！そして、海沿いをドライブし、海洋博物館、からすみ工場へ行きました。人生初のからすみゲット～！笑顔と優しさに溢れる一日に謝謝☆



青柳愛 阿部堇花

私達は、日本語が上手なお姉さんPちゃんと気さくで優しいおばさん家族に一日お世話になりました。Pちゃんはスケジュールを作ってくれていて、午前中は伝統家屋の四合院やオランダ村の観光、おばさん夫婦が営むチキンファームで卵拾いを体験しました。また、初めて体験した台湾式シャンプーでは座ったままシャンプーをして、現地の美容院の雰囲気味わいました。おじさんといとこが作ってくれたお昼ご飯はおいしく、お腹がいっぱいになりました(^)そして午後はもう一人のおばさんの家で、靴下人形作りに挑戦。貴重な体験をさせていただいた訪問先の皆さんには本当に感謝しています！



## 最終日。。。笑いあり涙ありの感動のお別れ会☆

最終日の夜に行われたお別れ会はホストファミリーも参加して盛り上がりました！  
台湾の学生と私たちがそれぞれだしものをしました。  
バスの中で練習したり、前日に徹夜して練習したりと、短い期間での練習でしたが、  
感謝の気持ちを伝えたいという思いで心を込めてやり遂げました！！！！



### プログラム

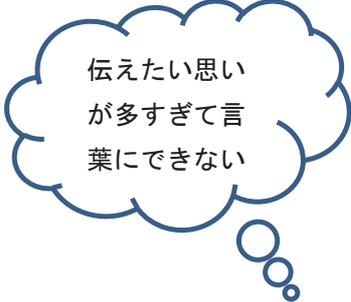
- ☆台湾学生のダンス
- ☆スピーチ
- ☆伝言ゲーム
- ☆涙そうそう
- ☆すずめ踊り
- ☆感謝カード交換
- ☆仙台学生歌
- ☆写真撮影
- ☆スライドショー鑑賞

司会のふたり素敵<3



お世話になった嶋田さん・光さん・葉先生・奇美の社長さんにも寄せ書きや千羽鶴を贈呈しました。学生にはみんなで作ったアルバムをあげました。

台湾の人たちと日本人の学生で伝言ゲームをしました。最終日とはいえ台湾語の発音の聞き取りは難しく、一問目のパイナップルケーキはすんなりできましたが、二問目のたうなぎの麺は変な言葉になっていました。仲良くなった仲間との最後のゲームはとても楽しく、思い出に残りました。また、ツアー中にバスの中で練習していた涙そうそう。最終日にみんなで歌ったことも思い出です。現地の言葉で歌ったことでより一層一体感が増したように感じました。  
また会おうと約束してお別れをしました。。。。。



伝えたい思いが多すぎて言葉にできない

- ☆櫻場 愛梨
- ☆青柳 愛
- ☆柳川 実来里
- ☆山口 純枝

★ ★ ★ 2月26日(日) ★ ★ ★

□最終日

最終日の朝はお別れ会後の飲み会でちょっぴり眠い中、起床し朝食・・・そして別れの時。11日間という時間を一緒に過ごした仲間との別れはとても悲しかったです。バスに乗った私たちを台湾の学生たちが最後まで見送ってくれました。名残惜しくも新幹線の駅に着くと台湾で起きた地震により新幹線が止まっていた。搭乗に間に合わないかもしれないという状況の中、なんとか間に合い無事帰国。私たちは色々な方の支援のおかげで貴重で楽しい体験をすることができました。私たちが一生忘れることのできないこのツアーに関わってくれたすべての人に対する感謝の気持ちを忘れずに、これからも台湾との交流を続けて行きたいです。多谢！（やまぐちあやえ）





台南市青少年訪問団 報告書

# フォトアルバム









嶋田さん イケメン!!

パワテンライ!  
パワテンライ!

今 議長 大好き

Fe-tshon?

マニマニ

マニマニ

嶋田 入田 興一

# 台南より☆ メッセージ

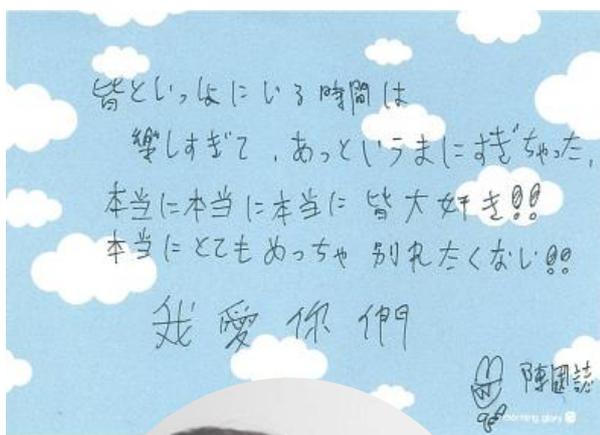


仙台メンバーへ

今まであまり気にもしなかった仙台がみんなと出会ってすごく行きたい都市になりました。また会える日を楽しみにしています。

しまだしゅん

南台科技大学 嶋田 俊



陳國誌

南台科技大学 阿部 光



2012.2 送學到仙台プロジェクト

今回は、「送學到仙台」の交流事業に参加していただきありがとうございました。自分の能力不足で皆に100%のことを伝えられなかったことが、凄く申し訳ないです。勉強があと必要だなあと感じました。台湾と日本は近いので是非また遊びに来て下さいね。皆との出会いに感謝。仙台に行った時は、よろしくお願ひします。南台科技大学 阿部ひかり

今回のイベント、皆様にもせだつはまた一部分です。  
 台南と台湾文化また面白いものが一杯あります。  
 台湾の方は日本が好きな人が多いです。  
 活動の契機に、台湾の愛を届けます。

韓安和

2012.2.25



韓安和

李依倩



みなさんへ  
 さて、皆に感謝しています。  
 すごく楽しい9日を過ごした。台湾と日本  
 の交流はもっと深めた。それに、心のつな  
 がりも強くなった。この間、いっぱい  
 しゃべたし、おいしい物も大満足だった  
 嬉しかった。ステキな思い出を作ってくれ  
 てありがとう。また会えるように。😊

いちばん 2012  
2.25日

このイベントによって、日本と台湾との絆  
 がより一層深まった気がします。  
 この十日間、いろんなところへ行き、遊  
 んだりして、本当の楽しさです。

日台友好!!

太陽

梁懿文



皆さんへ

皆と知り合える事がよかったです。  
 この数日間、毎日一緒に笑ったり  
 遊んだりしてとても楽しかった。  
 もっと深く仲良くしたいー  
 また会えると言っているから、  
 寂しくない、寂しくない! 一ウエン

梁懿文



蘇昱宏

皆さんへ：  
台湾に来て、ステキな思い出  
を作ってくれて本当にありが  
とう!!!! また台湾へ来てくだ  
さいね。  
Kai-tyg.



黄楷婷

李依柔



皆さんへ♡♡♡  
台南に来てくれて本当に  
ありがとう!!!  
素晴らしい思い出を  
作ってくれてとても嬉しい!!  
また来てね!! 案内するから!  
李依柔 ベラ!

♡  
皆さんと出会う、とても楽しかったです!  
私は自分もいろいろなものを勉強になりました。  
皆さんのおどりと歌はとても素晴らしいです。  
ぜひ台湾へ行ってください!! ♪ ♡  
♡  
Tina  
2012.2.26



董玉婷

曾意青



みんな  
台湾に来て、  
そんなに素晴らしい思い出を  
作ってくれて、ありがとうね!  
すごく楽しかったよ☆  
みんな大好き♡  
ゆい  
2012.02

本当にたくさんの方に  
お世話になりました。  
ありがとう  
ございました！

みなさん～  
It's so happy to meet all of you!  
I ~~want~~ will remember you forever～  
ほんとに love you～  
真的愛你們，再來台灣！  
I hope <sup>that</sup> anyone of you have a beautiful  
future～ Love 徐香華 Grace  
美美 グレース

みんなさん、  
昨日本当に楽しかった。  
みんなに会えてよかったね！  
また台湾に来てね。待て待てがさ。  
お疲れ様でした！  
ありがとうございます!!!  
楊華 徐香華 2012. 3. 26

Taiwan的朋友們，大家好！  
很高興有這次的機會認識你們～  
9天的時間過的好快，很捨不得  
大家。I hope we can have chance again  
to meet everyone.  
Thank you for everyone's help.  
I love you you you. and I will  
miss you you you very much.  
Have nice day. Emily 😊

You are all very cute and sweet,  
I wish you ~~enjoy~~ enjoy every day  
in the future.  
Stay true!  
日本大好き！ コイカ  
みんな大好き！ 江偉華 Feb. 26  
2012.

很高興認識你們  
你們人都很好、很和善。  
歡迎你們下次再來。  
永安

Although I didn't join you from  
first day to end, but I still  
very enjoy with you.  
Wish you will come back to  
Taiwan. again～ Photograph  
黃思豪  
2012. 02. 26.

取材という形で数日間、  
同行させて頂きました。僕もメン  
バーの一人のように、話しかけたり、接して  
くれてうれしかったです！10日間の思い出  
を大切にしてください。そして、その大学の  
に帰って、今回の体験を分かち合えて  
下さい。今回の旅で得られたことを糧に、  
それぞれの夢を追いかけて下さい！ 大石

## 同行者からのメッセージ

私の台南市滞在は、わずか 2 日間と短いものでしたが、青少年ツアーの企画運営に携わった方々との交流を通じて、その熱い思いを感じることができました。台南市の皆様からの 1 億数千万円にもものぼる寄付はもちろん大変なご支援であるわけですが、それに加え、仙台市の青少年を 3 年間で 300 名招待するという支援プログラムは、「復興を担う人づくりこそ経済的支援にも勝る最も確かな支援である」という考え方のもとに発案されたこと。さらには、参加した青少年が将来、台南と仙台のみならず台湾と日本の交流の架け橋になって欲しいとの願いも込められていることも感じました。

台南市政府、奇美グループ、樹谷文化基金会の皆様はじめ仙台の青少年を温かく迎えてくださった台湾の皆様へ心からの感謝を申し上げますとともに、本プログラムが所期の成果を納めることを願ってやみません。

仙台市市民局次長  
守 修一



ありがとう、皆さん

仙台空港の出発ロビーに集合した団員一同は、ツアーへの期待にはしゃぎながら、緊張感も漂わせていた。大震災に際して心のこもったお見舞いととも高額の寄付をお寄せくださった台南市に、仙台からの感謝と復興の状況を伝える、という重要なミッションを持ったツアーに相応しい感じだ。私も、若い団員たちの高揚感を共有させてもらって、出発を待った。

そして到着した桃園空港。たくさんの寄せ書きに彩られた大きな横断幕を掲げて、台南の方たちが出迎えてくれた。翌日は、市長主催の記者会見が開かれたが、日本でイメージされる堅苦しさとは無縁で、台南を象徴する鳥クロツラヘラサギ（もちろん着ぐるみです）は愛想をふりまき、中学生は神様に扮してディスコダンスを踊り、団員たちも誘われて一緒に踊るとい楽しい雰囲気の中で、青少年ツアーの受入が台南の各界の方々にお披露目された。

記者会見に先立ってスタートした研修プログラムでは、日本語を学ぶ台南の学生さんが、何人もボランティアとして参加し、支えてくれた。リーダー役は、日本から台南に留学している学生さんで、これから行われる高校生のツアーの際にも参加してくれれば、留学を考えている生徒にとって、よいロールモデルになることだろう。

団員たちを残して帰国した私には、たった 2 日間の台南滞在だったが、たくさんの方々にお会いし、皆さんが私たちを心から歓迎してくれていることを、ひしひしと感じた。お一人お一人が懐かしく思い出される皆さん、お世話になりました。本当にありがとうございました。

(財) 仙台国際交流協会副理事長  
池田 規子



私は、訪問団に3日遅れの2月19日から参加しました。深夜に到着した翌朝、2月の台南郊外の山間の村の朝は、日本の夏の朝にも似て、夜の名残りの気だるさと、静けさを漂わせていました。

それから8日間、品ぞろえや雰囲気は日本とほとんど変わらないのに良く見ると表記された文字が違っていたり、貨幣が異なったりしているコンビニ、一昔前の日本に思わせる古い街並みと超近代的なビルの混在などに、いつのまにか、不思議な世界に迷い込んでしまったような気分を味わいました。また、仙台と台南との若者が、若者らしい率直さでたちまちのうちに親しくなるのを眩しく眺めていました。

文化の違いに対する興味、眩暈を感じさせる不思議な気分、短い睡眠時間に蓄積する疲労、それらが混在し、怒涛のような日々が過ぎて行きましたが、今、最も記憶に残っているのは、台南の方々の手厚いもてなしと、それへの感謝の気持ちです。

今回のツアーでは、台南市政府の方々、現地の学生ボランティアなど、とても多くの方々にお世話になりました。心から感謝申し上げます。なかでも、仙台と台南の若者の橋渡し役となった日本人留学生の嶋田俊さん、阿部光さん、受け入れの窓口となり実務を担当された奇美グループのブラックさん、シャンファさんには、どうしても名を挙げて感謝の意を伝えたいと思います。

同時に今回のツアーで台南の若者たちに感謝の意を伝えようと精いっぱい務めた日本の若者たちに同行者の一人として感謝しております。

今回のツアーが仙台と台南の若者との継続的な交流の第一歩となることを心から期待しています。

(財) 仙台国際交流協会 企画事業課長  
佐藤 剛



台南市政府、財団法人樹谷文化基金会、奇美グループ、そして台南市のみなさま。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。

## ツアー参加者 アンケート結果（抜粋）

○今回のツアーで一番印象に残ったことはなんですか？

- ・ 原住民の生活体験（日本や観光旅行ではできない体験だから）
- ・ 学生交流（同年代の若者との交流が楽しかった、日本のよき理解者がいて嬉しかった）
- ・ 台湾茶会（日本統治時代や台湾の震災を考えるきっかけになった）
- ・ 夜市（台南学生に台湾流の楽しみ方を教えてもらえた）
- ・ 最後の交流会（10日間の思いでが全部詰まった感動的な交流会だった）

○また台湾を訪れるとしたら、やりたいことや行きたいところがありますか？理由

- ・ 今回ボランティアをしてくれた台南学生と再会（仲良くなったのでみんなにまた会いたい）
- ・ 夜市（食べ物も、買い物もできてすごく楽しかったのでまた行きたい）
- ・ 大学見学、授業参加
- ・ 夏に行ったらスキューバダイビングなどのマリンスポーツに挑戦したい
- ・ ホームステイ（一般家庭に何日か宿泊してみたい）
- ・ 自由時間がほしい（自由に市内見学できる時間がもっとあるといい）

○今回のツアーの感想や意見

- ・ 台湾の人の思いやりや親切を感じることができて、感動した。
- ・ 今回のツアーで、たくさんの人との出会いがあった。いい関係を続けたい。
- ・ ツアーの経験を今後の人生に活かしたい。
- ・ 支援に対する感謝を伝えるはずが、もっとたくさんの「愛」をもらった。
- ・ 仙台の人に台湾人の温かさ、研修の体験を伝えたい。
- ・ スタッフが素晴らしかった。本当にお世話になりました。
- ・ 行く前に台湾のこと、中国語をもっと勉強していけばよかった。
- ・ 日本や仙台について意外と知らない自分が恥ずかしかった。勉強します。
- ・ 絶対にまた台湾に行きたい！
- ・ 台湾が大好きになった！
- ・ 素晴らしいツアーに参加できて幸せです。台湾のみなさん、ありがとうございました。
- ・ 観光旅行では味わえない、質の高いツアーだった。
- ・ カルチャーショックがいっぱいあって、日本と自分の再発見につながった。
- ・ 帰国後、中国語の勉強を始めました。
- ・ 台湾、日本問わず友達がたくさんできた。
- ・ スケジュールがきつくて大変だったので、次回は少し余裕をもったほうがいいと思います。
- ・ 人生で一番充実していた11日間でした。貴重な経験になりました。
- ・ 初海外でしたが、スタッフのおかげでなんの不安もなく過ごすことができました。
- ・ 台湾人から日本の歴史の授業や、統治時代の話しを聞いたのは貴重だった。

# 台湾・台南市 仙台支援に力

## 06年の協定締結が縁

台湾の台南市が東日本大震災後、仙台市への支援に力を入れている。2006年に仙台市と交流促進協定を結んだ台南市からの寄付金は総額1億3700万円に上り、同市ゆかりの台湾企業の出資で仙台市の青少年が現地を訪問する3カ年のプロジェクトも始動した。関係者は「海外からの温かな支援は復興を強く後押しする」と喜んでいる。

◆ 台南市は昨年4月、政治家や芸能人も参加したチャリティイベントで集めた1億700万円を仙台市に贈呈した。伊藤敬幹副市長が3月中旬、返礼のため訪問した際には、市民からの寄付金として、さらに3000万円を提供した。

台南市からの寄付の総額

## 寄付金総額 1億3700万円

は、仙台市に寄せられた1903件、計約19億6400万円の中でもトップクラス。伊藤副市長は「国内外で震災の記憶が時間とともに薄れていく中、息の長い支援を続けてもらえるのがあるがたい」と感謝する。

台南市発祥の台湾財閥の一つ、奇美グループは1400万円を仙台国際交流協会に寄付した。浄財は今後3年間で9回、計300人の青少年を台南に招待する事業に使われる。伝統文化体験や施設見学に加え、現地学生との交流の機会を設ける計画だ。

初回の訪問ツアーは2月16～26日にあり、公募の大学生30人が参加した。訪問団長を務めた仙台大専4年の阿部晋士さん(20)は「台湾の人々が今も親

## 青少年交流事業も始動

身になって被災地を心配してくれていることに感動した。復興に向けて頑張ろうとの思いを強くした」と振り返る。

22(265)2480。



仙台と台湾の学生らが交流を深めた台南市青少年訪問ツアー

2回目の訪問ツアーは8月に出発する。高校生向けと、大学生・専門学校生向けの2コースあり、定員は各25人程度。7泊8日で、自己負担額は約3万円。募集は4月16日に締め切り、書類と面接で選考する。連絡先は仙台国際交流協会0

# 編集後記



AIRI SAKURABA

台湾に行って帰ってきてから約一ヶ月で報告書を作成するという  
ことで、本当にできるのかとても不安でしたが終わらせることができ  
てよかったです。みんなで楽しく報告書をまとめる作業ができたので、  
よい報告書ができているのではないかと思います。出来上がるのが楽  
しみです。チームのみなさん、訪問団のみなさん、報告書作成に関わ  
ってくださったみなさん、本当にありがとうございました！

帰国してから約一ヶ月間で2回しかない事後研修会で報告書の作成を  
するのはとても大変な作業でした。

時間が限られている中で報告書チームで集まって書き方を決め、団員  
全員に記事を書いてもらい、揃った記事から編集していき、やっと完  
成に至りました。

初めての報告書作りでしたが、台南市で過ごした11日間の思い出が  
ぎっしり詰まった報告書にすることができたと思います。



MIKURI YANAGAWA



KAZUTO TENMAN

やっと終わった！報告書作成を終えてまずは一区切りつけられました  
かね。この報告書、すぐに作れると思っていましたが、みんなの記事  
や写真を見ながらだと自然と思い出話になってしまってなかなか作業  
が進まず大変苦労しました。報告書チームはほんとにツアーが終わっ  
てからが本番なので、忙しい時期も重なりちよっぴり後悔もしました。  
けれど最高に楽しかった台湾での思い出を形にできたことをとても誇  
りに思っています。この報告書を読んでもくれた人に少しでも今回のツ  
アーの雰囲気を伝えることができれば幸いです。

皆さんの台南で過ごした11日間の思い出がたくさん詰まった報告書  
となりました。このツアーを通して感じたことやたくさんの方々との  
出会いは、今後の人生で何かに悩んで迷った時、大きなパワーとなる  
だろうなあと思いました^^私にとって、あの11日間は宝物です。  
このようなチャンスをいただけたことへの感謝の気持ちを忘れずに、  
今後、誰かのために自分が役立つことができるように、がんばりたい  
と思います。



HARUNA OYAMADA

## おわりに

3年間で約300人の青少年を台南市へ派遣、という大きなプロジェクトの第1回目ツアーを担当できたことを大変光栄に思います。

台南の魅力を余すことなく堪能できる盛りだくさんのスケジュールの中、移動のバスの中で元気を充電し、研修先では積極的に何にでも取り組む参加者の姿をみて、微笑ましくそして頼もしく思っていました。台湾学生の高い日本語力と豊富な知識に圧倒されつつ、仙台の若者も日本の流行りや若者言葉を教える・・・短期間でみな驚くほど仲良くなっていました。先住民の暮らし体験、食事やトイレ事情など、いい意味でカルチャーショックをたくさん体験し、台湾にいた11日間でみんなたくましくなった気がします。

帰国後、台湾の歴史や中国語の勉強を始めた人や、次の長期休みには今回仲良くなった友達に会いに台湾に行きたい！という声を聞くと、このツアーの意義を感じるとともに、こんなに素敵な機会を与えていただいた台南のみなさまに感謝の気持ちが尽きません。3年後、このプロジェクトに参加した300人の若者が、仙台と台南がどうなっているか、今から楽しみでなりません。

歴史ある台南の街並み、どこへ行っても温かく私たちを受け入れてくださった台湾のみなさまとの出会いを通して、台湾がぐっと身近に感じられるようになりました。この報告書を通して、私たちが体験したことが少しでもお伝えできればと思います。

出発前は、台南のみなさんの熱い想いに応えられるか、こちらの準備が追いつかないのではないかと不安だったところもありますが、無事にツアーを実現できたのは台南のみなさんの万全な準備と細やかなお心遣いがあったこそだと思います。

台湾のみなさま、事前研修でお世話になった方々、出発前に台南と仙台間でやりとりした膨大なメールを翻訳してくださった海老塚和美さん、その他今回のツアー実施にあたり、ご協力いただきましたすべての皆様に心から感謝いたします。

(財) 仙台国際交流協会 企画事業課企画係  
川合 朋子



**台南市青少年訪問団Tシャツデザイン 宮城教育大学 1年 平間眞珠**

台湾名物のマンゴーをイメージして鮮やかなオレンジを使用。  
台湾の島の形と仙台のご当地キャラクター「むすび丸」をコラボさせて作った「マンゴー丸」。仙台・台南と「台」を通して手をつなぎ、日本から感謝の気持ちが台湾に届くよう、願いが込められています。



# 送愛到仙台



## 台南市青少年訪問団 報告書

編集・発行 財団法人仙台国際交流協会  
〒980-0856 仙台市青葉区青葉山 仙台国際センター内  
TEL: 022-265-2480 FAX: 022-265-2485  
E-mail: plan2@sira.or.jp HP: <http://www.sira.or.jp>